

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2017-4491(P2017-4491A)

【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2016-8456(P2016-8456)

【国際特許分類】

G 06 F 3/01 (2006.01)

G 06 F 3/0484 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/01 5 1 0

G 06 F 3/0484 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月25日(2018.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヘッドマウント・ディスプレイによって提示される仮想空間中でオブジェクトを制御する方法であって、

ヘッドマウント・ディスプレイの動きを検出する検出ステップと、

検出された前記動きに基づいて前記仮想空間中で視野を移動させる視野移動ステップと、

前記視野の移動に基づいて前記視野内のオブジェクトを移動させる第1のオブジェクト移動ステップと、

前記オブジェクトの少なくとも一部が前記視野の外に位置するようになったことを判定する判定ステップと、

前記オブジェクトの少なくとも一部が前記視野の外に位置すると判定されたとき、前記オブジェクトの前記少なくとも一部が前記視野内に戻るよう前記仮想空間中で前記オブジェクトを移動させる第2のオブジェクト移動ステップとを含む方法。

【請求項2】

前記判定ステップは、前記オブジェクトの前記少なくとも一部が所定方向において前記視野の外に位置するようになったことを判定するステップを含み、

前記第2のオブジェクト移動ステップは、前記オブジェクトを前記所定方向に沿って移動させるステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第2のオブジェクト移動ステップは、前記視野の移動速度に関わらず、前記オブジェクトを有限の速度で移動させるステップを含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記オブジェクトを前記視野内の初期状態の位置に対応する前記仮想空間中の位置に配置し、前記オブジェクトの移動速度を初期化する初期化ステップと、

前記第2のオブジェクト移動ステップによって前記オブジェクトを移動させた後、前記オブジェクトの移動速度を再初期化する再初期化ステップと

を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記再初期化ステップは、前記オブジェクトを移動させた後、前記オブジェクトの位置が前記初期状態の位置と一致した場合に、前記オブジェクトの移動速度を再初期化するステップを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

ヘッドマウント・ディスプレイによって提示される仮想空間中でオブジェクトを制御する方法であって、

前記オブジェクトを前記視野内の初期状態の位置に対応する前記仮想空間中の位置に配置し、前記仮想空間中の前記オブジェクトの移動速度ベクトルVを0に初期化する初期化ステップと、

ヘッドマウント・ディスプレイの動きを検出するステップと、

検出された前記動きに基づいて前記仮想空間中で視野を移動させる視野移動ステップと

、前記視野の移動に基づいて、前記視野内のオブジェクトを前記移動ベクトルVで移動させる第1のオブジェクト移動ステップと、

前記オブジェクトの少なくとも一部が前記視野の外に位置するようになったことを判定する判定ステップと、

前記オブジェクトの少なくとも一部が前記視野の外に位置すると判定されたとき、前記オブジェクトの前記少なくとも一部が前記視野内に戻るよう前記仮想空間中で前記オブジェクトを移動させる第2のオブジェクト移動ステップと、

前記視野内の前記オブジェクトの位置が前記視野内の前記初期状態の位置と一致した場合、前記移動速度ベクトルVを0に再初期化するオブジェクト移動速度再初期化ステップと

を含み、

前記第2のオブジェクト移動ステップは、前記移動させられた視野の中で前記オブジェクトが前記初期状態の位置に戻るような値を前記移動速度ベクトルVとして設定するオブジェクト移動速度設定ステップを含む、

方法。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法を実行するためのプログラム。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法が実行される装置。